

毎週日曜発行 2017 11/12

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7

かほくワークシート

8 投稿特集

続 お仕事  
の現場



6

ピアニスト

吉田 彩さん (42)

＝仙台市青葉区＝



仙台クラシックフェスティバル2015に「マリンピア」として出演。0歳から入れるコンサートを開きました＝2015年10月4日、エルパーク仙台スタジオホール

## 経験重ね心に届く演奏を

鍵盤の上でなめらかに指を動かし、美しい音楽を奏でるピアニスト。「あんなふうに弾きたいな」と憧れる人も多いよね。かほピョンは、宮城をはじめ東北を中心に活動する吉田彩さん(42)に会ってきたよ。

演奏会を開いたり、歌や他の楽器の伴奏をしたり、ホテルやレストランで弾いたり、さまざまな活動をする吉田さん。仙台市で毎年開かれる

「仙台クラシックフェスティバル」には、マリンバ奏者の丹野富美子さんと組むユニット「マリンピア」として出演し、子どもも楽しめるコンサートが人気です。

「4歳で始めてからずっとピアノが好き」という吉田さん。小学生で合

唱団に入ってハーモニカの楽しさを知り、ますます音楽が好きになりました。中学生のころ、他の楽器にピアノを合わせる伴奏者になりたいと夢を持ち、無我夢中で練習を重ね東京の音楽大学へ進学。卒業後、北アフリカのモロッコで2年間、子どもにピアノを教える経験もしました。



大人になった今「ピアノ

ノは自分の鏡」と感じます。ずっと順調な道を歩んだわけではありませんが、「たくさんの経験を積み重ね、人の心に届く演奏ができる。私とピアノは一緒に成長してきました」。大学時代には自信を失って心と体の調子を崩し、食事がとれず体重が10キロも減ったそうです。

「あの挫折があったから、今の私がある」と話します。「つらい思いをした人は優しい音が、と

演奏会前には自分の演奏をビデオカメラで録画し、何度も見てチェックします

きめく気持ちを知っている人は心を弾ませる音が、出せるんですよ」



今も、尊敬するピアニストから毎月レッスンを



受けています。「何歳になっても成長できるのが演奏家。新しいことにチャレンジするためにも、つとまくなりたいたい」と、目を輝かせて話してくれました。

◇  
言葉の通じないモロッコで教えるのは大変じゃなかったか聞くと、「大丈夫。音楽は言葉を超えるよ」と吉田さん。音楽の力はすごいね!

今週の注目ニュース

◇12日(日) おおずもろ 大相撲九州場所(～26日、福岡市・福岡国際センター)

9月の秋場所は3横綱と2大関が休場してさびしかったね。今度は横綱や大関の取り組みもたくさん見られそうだよ。

◇13日(月) 今の大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」のプレテスト(～24日、全国の約1900の高校など)

新テストは2020年度にスタート。国語や数学で記述式問題が取り入れられ、入試が大きく変わるんだ。